

図書館報

2025 WINTER No.68

SEASON



写真：中央図書館正面階段

ISSN 1349-3760



コラム「大学附属図書館—人類共通の知識の要塞」
理工学部 川井 秀樹 教授



特集「中央図書館ココみてポイント」



中央図書館 最近の企画展示



ミニコーナー ある図書館の日常



図書館掲示板

大学附属図書館は私を留学に導き、学問への道を切り開いてくれた。

中学2年の夏、私は米国ワシントン州シアトル市にあるワシントン大学の Suzzallo Library を訪れた。その壮麗な外観に圧倒されながら、重厚な扉を開け、暗い通路を通り、階段を登り切った先で、大きな Reading Room に入った。高い天井にはシャンデリアが飾られ、広い空間が広がり、木製の机や椅子が並び、厳かな空気が漂っていた。壁沿いの焦茶の本棚には、装飾が施された書籍が整然と並んでいた。学生たちが広い机に書籍を積み上げ、真剣に向き合っていた。この光景に、私は学問探究に対する憧憬と畏敬の念が込み上げてきた。このとき、アメリカで学問探究の道を志す決意を固めた。

1988年秋、米国ミネソタ州・ミネソタ大学の Walter Library に足を運んだ。以前ワシントン大学で見た荘厳な光景がここでも広がっていた。高い天井に広い空間の Reading Room、重厚な机と木の椅子。大学生となった私は、数年前のあの憧憬の念が、学問探究への緊張感に代わっていた。この場所での日々が、知識を探究し続ける情熱を強くしていった。図書館の奥には、数

階にわたる書庫があった。立ち込める書籍の匂いが、私をさらに知識の深みに引き込んだ。書庫の壁際に縦に並んだ一人机は、勉強に最適だった。限らない書籍の山の中で、必要な情報を探し、発見したときの喜びを感じる中で、学問に携わった研究者たちへの尊敬と畏敬の念が増していった。いつしか私もこの知識の探究者の一員になりたいと強く思うようになった。

大学院での研究活動を通じて私が利用した図書館は、単なる情報源としての役割だけでなく、研究者としての成長を支える重要な場でもあった。ミネソタ大学大学院に進学してからは、専門的な資料を集めるため、ヘルスサイエンス・ライブラリーをよく利用した。書庫には医学関連の論文や書籍が幾棚にも渡って並べられていた。あるとき、薬理学科に所属していた私は、ボランティアとして、モヤモヤ病という脳の病気に関する資料の収集と、日本語への翻訳を頼まれた。医療分野の文献に触れるのは初めてで、普段扱っていた生化学的な論文とは異なる視点に気づき、私の学問的な幅を広げ、さらに深い学びを求める原動力となった。

研究室があったセント・ポール・キャンパスにも近代的な附属図書館があ

り、研究テーマに関わる生化学的論文をここで探すことができた。電子ジャーナルもなく、ジャーナルのデータベースも大学のコンピュータでしか利用できなかった時代である。当時は膨大なジャーナルの中から必要な論文を探し出し、重いジャーナル冊子を抱えながらからコピーをとる作業は、労力や時間と手間もかかった。しかし、その過程で目的の論文の必要性をその場で考える時間になったし、目的論文以外の研究を目にすることで得た、ある意味遊びの知識もそれなりに価値があった。その頃は時間の使い方を工夫することが、研究の進展に大きな影響を与えることを実感した時期であった。その後、徐々に電子化が進み、図書館でも冊子から電子ジャーナルの提供に変わってきた。より多くの情報を早く短い時間で、目的の論文のみピンポイントで手にすることが可能になった。しかし、その容易さと多さの故か、情報の処理に費やす時間が増え、考える時間や知識の遊びが少なくなった気がする。時代の変化とともに、それに即した対応が求められる。

大学附属図書館は大学のシンボルで



あると同時に、世界共通の知識を提供する要塞でもある。大学院修了後、私は米国の3つの大学で研究者として奉職した。どの大学にも、威厳を持った附属図書館があった。その個性的な建築は学問の尊さを体現しているように思えた。それぞれの図書館に所蔵されている図書には違いはあるが、特に理工系の多くが世界的に共通の書籍やジャーナルである。この事実を俯瞰する時、世界各国にある大学附属図書館は、独立した知識の要塞でありつつも、人類が長年にわたり蓄積した共通の遺産を共有する場所でもある。言わば「巨人の肩」を提供し、新たな発見を生み出す源泉なのだ。本学の附属図書館の指針となった創立者の読書に関する箴言をお借りすると、図書館は「勝利者の源泉」であり、「偉人への道」を開きゆく「幸福の伴侶」となり得る。どんなに時代が変わっても、附属図書館の持つ偉大さとその意義は変わることなく、私たちの知的な探求を支え続ける場所であり続けるだろう。



中央図書館

ココみてポイント

図書館には
まだまだ見てほしい、知ってほしい
ポイントがあるんです

八王子市郷土資料

Hachioji City
Local Materials

今いる土地のことを知ろう

4階閲覧室の中国館前に書架があります。
八王子市に関する資料が配架されています。
貸出可能です。



蔵書検索にて、「配架場所」の表示がこちらの場合、4階八王子市郷土資料にあります。



ラーニング・ commons

Learning Commons

会話ははずむ！自由な発想でグループ学習

1階ラーニング・commonsでは、会話をしながらの学習が可能です。

テーブルや椅子を動かすことができるので、自由にレイアウトをして使用することができます。ホワイトボードやプロジェクターの利用もできます。

※ミーティング・スポット（赤）をグループで利用する際は予約が必要です。



新着図書

Newly Arrived Books

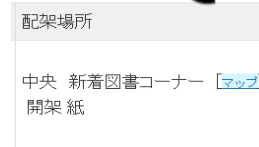
週に1度は立ち止まってほしいコーナー

1階新着図書には新しく図書館に所蔵された資料を展示しています。

新着図書は配架準備が整い次第、こちらのコーナーに一定期間展示します。展示期間終了後、所定の書架へ配架されます。



蔵書検索にて、「配架場所」の表示がこちらの場合、1階新着図書にあります。



新聞書評図書

Book Review

誰かの思いを受け取って手に取る本

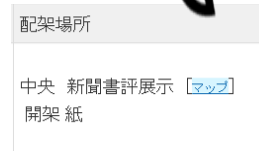
サービスカウンター横の掲示板にて、各紙の書評欄に掲載された図書を展示しています。

毎週、書評欄の記事と図書を一緒に展示しています。書評もぜひ読んでみてください。

新聞書評図書
Book Review



蔵書検索にて、「配架場所」の表示がこちらの場合、1階サービスカウンター横の掲示板に展示しています。



今日の一書

Today's Book

その日その時に伝えたい一冊

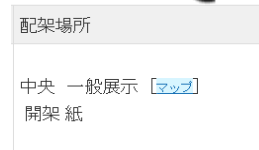
新聞に掲載された図書や、最近の出来事などに関連する図書を日替わりで紹介しています。新聞書評図書と同じくサービスカウンター横の掲示板に展示しています。平日開館日に更新します。

図書館ウェブサイトでは、過去に紹介した図書もご紹介しています。

この表示が目印！本とポスターが展示されています。もちろん貸出OK！



蔵書検索にて、「配架場所」の表示がこちらの場合、1階サービスカウンター横の掲示板に展示しています。



今日の言葉

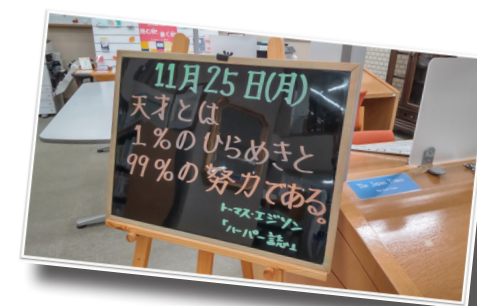
Today's Word

たくさんの人に出会ってほしい言葉です

文豪や偉人の箴言を日替わりで紹介しています。紹介ボードは1階入口ゲート入ってすぐに設置しています。開館日に更新します。

図書館ウェブサイトでは、過去に紹介した箴言もご紹介しています。

新聞架のとなりでお迎え♪ちょっと立ち止まって見えては。



アップサイクル

Upcycle

捨てるモノにも新たな価値を

保存期間が過ぎた新聞や雑誌を活用し、トートバッグやしおりなどを作成する取り組みを行っています。

これまで作成したグッズを1階に設置したボードにて展示しています。一部、閲覧席で配布しているグッズもあります。ご自由にご利用ください。



英字新聞でトートバッグ



古いパンフレットでしおり



これまで作成したグッズを展示しています。

リーフレットコーナー

Leaflet

本だけじゃ伝わらない感動に会いに行こう

近隣の博物館、美術館などのリーフレットやチラシを設置しています。ご自由にお持ちください。

入口ゲート前にラックがあります！



図書館刊行物『ほっ TOSHOKAN』もこちらにあります。図書館の使える情報が満載です！



中央図書館 最近の企画展示

10 OCTOBER

「Sustainable Development Goals 17」

SDGs とは何か？分かりやすく、基本から展望まで幅広く網羅した展示となりました。



11 NOVEMBER

「読む秋、書く秋」

読書の秋に、「書く」ことにも挑戦してみませんか！とのテーマで、「文章の書き方」に特化した展示を行いました。



12 DECEMBER

「僕を借りてください！」

中央図書館には、魅力的にもかかわらず、きれいな状態のまま書架に眠っている図書たちがあります。そんな図書を一堂に集めました。



ある図書館の日常

～図書館のアレコレ。中の人伝えます。～

創価大学図書館の大冒険



10.12-14. 2024

第54回創大祭では、Soka Reading Project (SRP) による「展示」、「宝探し」企画を行いました。

「展示」では、創大図書館の魅力を伝え、「宝探し」では、クイズに答えながら、図書館内を冒険できるような企画となりました。

3日間で、1200人を超える方々にお越しいただき、創大祭終了後にInstagramで実際に展示したものの一部を縮小版として紹介しました。



葛飾の伝説を辿る：真間手児奈の物語



10.30. 2024

Zoomによるオンライン形式で、SPACe 日本語ライティングセンター × Soka Book Wave イベント「葛飾の伝説を辿る：真間手児奈の物語」を開催しました。

講師の鈴木道代准教授（学士課程教育機構）は、万葉集の中で伝説として取り上げられている女性・真間手児奈について写真や絵を用いながら説明しました。



SRP が聞く！ 「教員のおすすめ本」

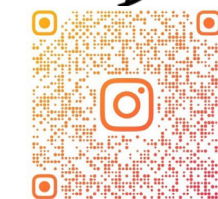


2024年度第2回

中央図書館2階 Soka Book Wave 推薦図書コーナーでは、教員のおすすめ本を紹介する展示を行いました。

2024年度第2回は、理工学部「フレイザー図書館」分館長の川井秀樹先生のおすすめ本を紹介しました。

おすすめ本は Instagramでも紹介しています。



@SOKA_LIBRARY_SRP

【読書人カレッジ】

渡辺祐真（スケザネ）さん



11.27. 2024

書評家・ゲーム作家の渡辺祐真（スケザネ）氏を講師に迎え、中央図書館1階ラーニング・commonsにて「読書人カレッジ」を開催しました。（協力：株式会社読書人、日本財団）

渡辺氏は講演で、自らの経験をおして本のメリットや本の選び方など、読書についてあらゆる角度からわかりやすく解説しました。「読書は自分と対話ができる、能動の始まりです。まずは図書館や書店など、リアルに本に触れられる場所に行ってみましょう」と語り、アニメや映画、身近な例を交えながら、本に親しむための極意を5点にわたって説明。最後に、読書を始めるうえですぐに読めるおすすめの本を紹介しました。



TOSHOKAN 図書館掲示板 KEIJIBAN

中央図書館
開館日程です

8:30~21:00

10:00~17:00

9:00~21:00

休館

1月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	

3月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

学年末長期貸出のお知らせ

学年末の長期貸出期間が始まりました。ご実家などの遠方にいる方でも宅配貸出を利用することで図書館の本を借りることができます（往復送料自己負担）。大学生活で一番長い休みを利用して本を1冊、5冊、10冊と読破してみませんか。

学部生・別科生・短大生：2週間貸出者

2025年1月15日（水）～3月21日（金）

教職員・大学院生・通教生：4週間貸出者

2025年1月15日（水）～3月10日（月）

一斉返却日：2025年4月7日（月）

卒業予定者返却日：2025年2月14日（金）

卒業予定者の皆様へ

未返却図書がある場合は、学位記授与を保留にする制度（「学位規則」第16条第2項）が適用され、全て返却または弁償するまで学位記が受け取れません。